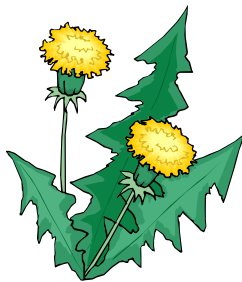


たんぽぽ



令和7年4月発行
発行者 放送大学
富山学習センター
責任者 所長 森岡 裕

vol. 130

「三日坊主のプロ(?)が語る、 継続の秘密」

富山学習センター客員教授 石津憲一郎

皆さんは三日坊主の経験がありますか？私は、数えることができないくらいあります！（「自慢するところじゃないだろ！」というツッコミが痛い）。思い返せば、小学校の時の漢字ドリルも、中学校の時に始めた腕立て伏せも、高校の時にやろうと思ったちょっと難しい本の読書（それがカッコイイと思った）も、ほぼ短期間で終わってしまった気がします。おそらく、多くの人にも似たような経験があるのではないのでしょうか。

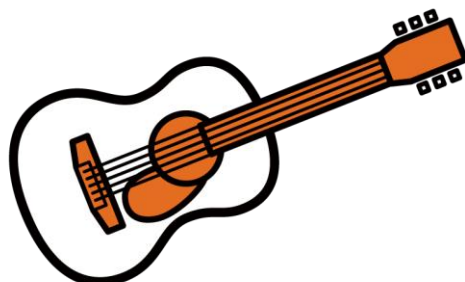
「よし！」という気持ちで始めたことを、すぐにやめてしまうと「やはり自分はダメなんだな」と自己批判をしてみたり、自己批判は辛いので、すっかり忘れようとしてしまったり。そして、他のことに手を出してみるものの、結局は長続きせず、この段落の最初に戻る…という悪循環。これでは、自己批判と嫌悪のループからなかなか抜け出せません。いっそのこと、もう何もしなければいい！という気持ちにすらなるのでしょうか。

しかし、見方を変えると三日坊主も別の意味を持つことがあります。一週間とか一か月という短いスパンで見ると、三日程度で終わってしまった「新しく始めたこと」は、「結局長続きしなかったこと」になってしまいます。でも、五年とか十年とか、長い時間の中で見ると、半年や数年やっていなかったことを、また始めていたりすることがあります。確かに、高校生の頃に始めた（すぐにやめた）読書は、また大学生で復活しましたし（今も時々やめては復活している）、いつか話せるようになりたい！と願って学び始めた（すぐに挫折した）外国語は、今やあふれるほどの動画があり、時間があれば時々見てしまいます（つい最近、感謝の意を示す“Thanks a lot”は「余計なことをしてくれて、どうも」という皮肉になりかねないことを知り驚愕！普通に海外出張の時に使っ

ていました…。さらに、生成AIは音声で、英会話のコミュニケーションすら無料でやってくれるではありませんか。

時間が経っても再開できるのであれば、それは完全に途切れたわけではなく、少しずつ積み重なっているのかもしれませんが。何度も繰り返すうちに、それは『やめたもの』ではなく、『時々続いているもの』に変わっていくのではないのでしょうか。あら不思議、見方を変えたら私もちょっとは頑張っている？とか成長している？と、もっと自分を応援してあげようかなという気持ちが芽生えそうです。

日本では四月といえば、新しい年度が始まり、気持ちを新たに作る時期です。この時期に新しいことを始めたいなあという気持ちの方も多いでしょう。そして新しい挑戦と思っていたことは、過去にやめたことの続きかもしれません。それなら、それも立派な『スタート』です。何かをやりたいなと思う気持ちは、それだけで素敵なこと。たとえ三日坊主になったとしても、その経験自体が無駄になるわけではありません。途中でやめても、また再開すれば、それは自分の成長になるはずです。ぜひ、一緒に新しい年度をスタートさせていきましょう。もちろん、四月にこだわる必要は全くありません。何かを始めたくなったその瞬間こそが、あなたにとってのベストタイミングです！…さて、私もまたギターでも触ろうかな。



2024 年度 第2学期 「学位記授与式」

この度、放送大学富山学習センター所属の学生のうち、28名の方が教養学部をご卒業され、1名の方が大学院文化科学研究科（修士課程）をご修了されました。皆様のご努力に改めて敬意を表します。

3月23日（日）に『2024年度第2学期学位記授与式』及び『2025年度第1学期入学者の集い』を開催しました。

◆ 2024年度第2学期 教養学部卒業生

**富山学習センターの教養学部卒業生が
続々増えています！**

コース	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と環境	計	累計
人 数	5	6	6	3	6	2	28	1,054

大学院文化科学研究科（修士課程）修了生

プログラム	臨床心理学	計	累計
人 数	1	1	54

- ◆ 富山学習センター所長特別表彰 10名
（教養学部の複数のコースを卒業した方
または1回目卒業時200単位以上修得した方）
- ◆ 放送大学名誉学生表彰 2名
（教養学部の全6コースを卒業した方）

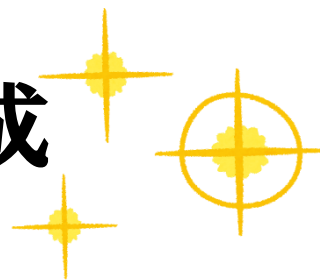


所長式辞





グランドスラム達成



放送大学では、教養学部全コース（又は専攻）を卒業した方（グランドスラム達成者）で、人物、学習態度が良好であると認められる学生に対し「放送大学名誉学生」の称号を付与しています。

この度、2名の方が全6コースを終えられ、名誉学生の称号を授与されました。その栄光と喜びを称え、心よりお祝い申し上げます。



大村直子さんによる代表謝辞

グランドスラム達成
おめでとうございます！



卒業生・修了生からのメッセージ

今回が6回目の卒業になります。私は、1993年（平成5年）2学期に放送大学に初めて入学しました。富山学習センターが出来て2年目。郵便局で見たリーフレットがきっかけでした。私は午前には某会社から図書館司書（サービス係）、午後には塾の講師として働いてきました。放送大学では、生涯学習のつもりで1学期2教科くらいを目安に学び続けてきました。マイペースでやってきたので、いつまで卒業という目標はありませんでしたが、さすがに母の介護を看なければいけなくなった時期や、落ち着いて勉強の時間を確保できない時など、モチベーションも維持が大変でしたが継続しようとここまで来ました。

来学期は、教養学部の選科履修生で再入学する予定です。私は趣味で始めた日本画も昭和60年代から今まで40年近く継続しているので、放送大学の勉強と一緒に結果こそ出せませんが、基本的には長続きのする性格かもしれません。放送大学では、分からないことがあると、学習センターの事務所に電話などで確認します。それがとても的確で理解しやすいので感心しています。これからもどうぞよろしくお願い致します。

（放送大学名誉学生 N.O）

卒業生・修了生からのメッセージ

私は今回の卒業は四度目の卒業になります。入学した時の専攻は「発達と教育」でした。一生懸命勉強する中で、私は学ぶことの喜びを感じていました。卒業後も学習を続け、「人間の探求」、「生活と福祉」そして今回の「社会と産業」です。当初は卒業することが目的でしたが、今は一つの専攻でできるだけでなくたくさんの科目を取りたいという欲求に駆られています。

私にとって富山学習センターは、新たなことを学び感動の場であるとともに、仕事や他のことから離れ、自分を取り戻す場所になっています。事務室から聞こえてくる、職員さんの笑い声の中で「ああ、ここに自分はもう 30 年も通ったのだ」と思うと感慨深いものを感じています。自宅の本棚には、200 科目以上のテキストが並んでいます。この間、大学卒業という条件とそこで学んだものを生かし、介護福祉士、社会福祉士、精神保健福祉士という資格も取得しました。

私は今年 4 月で 77 歳になりますが、これからも自分探しの旅を続けていくでしょう。

(社会と産業コース S.T)

私は、高校 2 年生のとき、メンタルの不調で学校に通えなくなりました。保健室登校すら難しく、最終的に高等学校卒業程度認定試験を受けて合格し、退学しました。その後はアルバイトを転々としながら過ごしましたが、卒業できなかったことへの悔しさや劣等感がずっと心に残っていました。そんな時、両親から放送大学を勧められました。初めは迷いましたが、悩み抜いた末、「思い切ってチャレンジしよう」と入学を決意。今は、あの時の自分に「よくやった」と伝えたい気持ちです。

放送大学で学んだ経験、そして卒業したという事実は、私にとって大きな自信になっています。そして、新たな夢も生まれました。放送大学での学びは、これからの人生に必ず生きると信じています。こうした機会を得られたことに、心から感謝しています。本当にありがとうございました。

(人間と文化コース N.H)

やっとの思いで情報コースを卒業し、今回の卒業で 4 コース目となる。定年後しばらくして入学し、気がつけば平均寿命が見え隠れするような年齢になった。その間の変化は、想像をはるかに超えるものであった。情報に関して、以下のような大きな変化があった。

毎日新聞が日本で初めて、富山県で店頭販売を終了した。メディアが『大賭博場化』『特殊詐欺グループによる蜘蛛の巣状化』になった。ChatGPTをはじめとする AI が、誰でも簡単に利用できるようになった。「メディア論」(水越伸等)は、これらの変化を深掘りする上で重要なヒントを与えてくれる。一度読んでみることをお勧めする。

(情報コース S.N)

働きながら大学で学び、6年半要し還暦のうちに卒業しました。愛娘が大学に進み、保証人会役員として関わるうち、学びは年齢に関係ないので、放送大学大学院に加え大学でも学びたくなったことがきっかけだ。面接授業は仲間と出会い、学習センターならではの科目が印象深い。本棚の印刷教材を眺めると達成感を感じる。

学んだ知識は富山県民生涯学習力レッジ砺波地区センターでの講義や、県内外での講演で地域に還元してきた。北野生涯教育振興会の給付奨学生に決まったのも嬉しい。コロナ禍や能登半島地震など辛いこともあったが、東京五輪聖火ランナー決定や地域に飛び出す公務員アワード受賞など嬉しいこともあり、美術館や大盛り無料など特典も利用した。振り返ると学んで良かった放送大学と関係者、そして愛妻に心より感謝申し上げるとともに、4月からも学びを堪能し続けたいので継続入学することとした。

(社会と産業コース T.K)



寄稿いただいた皆様、誠にありがとうございました！

退任教員からのご挨拶



藤田 公仁子 先生

2020 年度より客員教員としてお世話になりました藤田公仁子です。思い返すと、2009 年、岩手学習センターで行われた面接授業で、「学び」は自己実現へつながっていくというお話をさせていただきました。18 歳から 80 歳まで、幅広い世代の方がとても熱心に受講されていた記憶があります。再び面接授業の機会を富山学習センターでいただき、日々の「学び」は個々人の未来の可能性につながっていくこと、「学び」はいつからでもスタートできることを基軸に置きながら、「学び」は素晴らしい意味で自己を変容させるということを授業の中で展開してきました。客員教員として過ごしたこの 5 年間、皆さまから素晴らしい「学習実践」を見せていただき、生涯学習を専門とする研究者として、豊かな時間を過ごすことができました。どうも有難うございました。皆さまの将来へつながる日々の「学び」を大切に過ごしていただければと願っています。

2020 年度より客員教員としてお世話になりました、向井理恵と申します。折しも、着任当時はコロナ禍で、先の見えない日々には暗澹たる思いでおりました。喉元過ぎれば熱さを忘れるとはよく言ったもので、今でこそ客観的に振り返ることができますが、あの時の、何とも言えない気持ちや世の中の閉塞感は、忘れてはいけない気がしています。記憶や言葉は鮮明な現在を切り取り、抽象化し、分かったような気にさせてしまいますが、それでも自身のフィルターを通して経験した過去をしっかりと受容し内包しながら、現在を進んでいくことができたと思います。そんな激動の日々を含む数年間でしたが、ご縁あって、面接授業や認知言語学ゼミなどで、みなさまと学ぶことができたことに感謝いたします。



向井 理恵 先生

新任教員からのご挨拶



佐野 晋一 先生

このたび、放送大学富山学習センターの客員教授を務めさせていただくことになりました佐野晋一と申します。専門は地質学・古生物学で、地層や化石から得られる情報を元に「地球や生命の生い立ち」の一端を解き明かすことを目指して研究を進めております。令和 6 年能登半島地震やそれに伴う津波などを契機に、地球科学が改めて注目されているように思います。地球、あるいは自然について、皆さんと共に学ぶことを楽しみにしております。どうぞよろしくお願いいたします。

この4月から放送大学富山学習センターの客員教授を拝命しました村上満と申します。専門は、ソーシャルワーク（相談援助）です。

例えば、子育て家庭においては、児童虐待、子どもの貧困、ヤングケアラー、発達障害、いじめや不登校等……。地域に目を向けますと、8050問題、ゴミ屋敷、認知症高齢者、空き家対策等が挙げられます。

どれも、複合化・複雑化した背景（環境）要因があり、一筋縄では解決しづらいため、まさに重層的な支援が求められています。そこで私は、“安心・安全を脅かし”、“本心や本音が見えづらく”、“単純には解決しづらい”問題を、「あん・ぽん・たん問題」と名づけています。

どんなアプローチで解決に導くのか、そして福祉サービスというカタチにどう切り替えていくのか、そのプロセスを皆さんとともに考えていきたいと思えます。どうかよろしくお願い申し上げます。



村上 満 先生

このたび放送大学富山学習センターの客員教員を務めさせていただくことになりました。矢島桂と申します。日本経済史を専門としています。約100年前、米の価格が高騰して人々の生活が苦しくなるなかで米騒動が発生（1918年）しました。それが富山でおきた女性を中心とする米の安売り要請の運動に端を発したことは、みなさんよくご存知かと思います。この米騒動の後、米不足の解決を、日本は当時植民地としていた朝鮮半島に求めていきます。朝鮮では米の増産とその日本への運び出しが進められ、一方で日本からはそのための朝鮮への農業投資が行われます。またそれにともない人の移動も見られていきます。このように富山から始まった米騒動は、やがて東アジアでのモノ・ヒト・カネの移動のうねりを起こすことにもつながりました。経済史という学問を通じて、私たちの日々の暮らしがどのような歴史過程からもたらされ、またこの先どのようなことをもたらすのかを思惟する、こうした学びをみなさんと一緒に重ねたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



矢島 桂 先生

ゼミ開講のお知らせ

所長、客員教員の指導のもと学生が研究、発表、討論を行うゼミナール（通称『ゼミ』）を月一回対面形式にて開講しています。受講料は無料、単位は修得できません。また、指定のテキストを購入する必要があります。学生種問わず参加できますが、申し込みが必要です。

開講期間中、定員に空きがある場合は途中からの参加も可能です。詳しくは、メールまたは電話でお問い合わせください。ゼミの開講については、随時Webサイト等でご案内いたしますのでご確認ください。

5月から開講

現代社会ゼミ

テーマ： 環境、資源、エネルギーを通して世界の状況を考える
担当講師： 森岡 裕（富山学習センター所長、富山大学名誉教授）
期 間： 2025年5月～2025年9月（全5回）
日 時： 毎月 第2金曜日（原則） 13:00～14:30
テキスト： 「グリーンニューディール」明日香壽川/岩波新書/860円（本体価格）

ISBN/978-4-00-431882-8

定 員： 12名



面接授業を追加登録してみませんか！

◆ 面接授業とは

- ・ 学習センター等で直接講師から指導を受ける、教養学部の授業です。
- ・ 1科目1単位であり授業料は1科目につき6,000円です。
- ・ 2025年度第1学期に学籍のある全ての全科履修生・選科履修生・科目履修生が受講できます。



「事前申請受付」「先着申請受付」の2種類があります！

1. 【空席発表】 4月11日（金）15時

〈方法〉面接授業ウェブサイト（第1学期）の「お知らせ」にて



2. 【事前申請受付】 空席発表～4月16日（水）13時10分

〈受付方法〉Googleフォーム／学習センター窓口／郵送（午前必着）

郵送事情から配送が遅れることが懸念されるため、

Googleフォームもしくは窓口での申請をおすすめいたします。

〈抽選方法〉空席枠以上の申込みがあった科目は、学習センターにて厳選に行います。

〈当選科目の連絡方法〉4月17日（木）に、キャンパスメールにてお知らせいたします。

〈授業料納入方法〉4月24日（木）まで窓口または郵送（現金書留）でお願いいたします。

注）当選した科目のキャンセルはできません。

詳しくは「2025年度第1学期面接授業時間割表」をご確認ください。



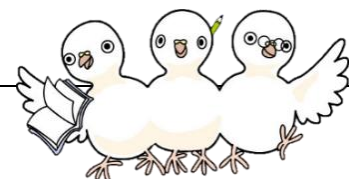
＜4月16日（水）13時10分～17日（木）15時は受付いたしません＞

3. 【先着申請受付】 4月17日（木）15時～原則として開講日の7日前まで

事前申請で満席とならなかった科目について行います。

〈受付方法〉学習センター窓口／郵送（現金書留）にて

注）授業料は申請時に納入ください。



2025年度第1学期 面接授業共修生を募集します！

「共修生（きょうしゅうせい）」とは？

放送大学の面接授業を、一般の皆様にも、また科目登録を行っていない学生の方にも、広く聴講できる機会を設けています。正規に履修する学生の方と共に学び、知識・教養をさらに深めていただくものです。大学院生の方、一度授履修したけれど、再度同じ科目を深めたい学生の方にも受講の機会です。

募集科目と申込方法につきましては、右記のQRコードをご確認ください。



2025 年度第 1 学期 富山学習センター面接授業一覧

		科 目 名	講 師 名	定員	開 講 日
専 門	生活と福祉	「富山のくすり」と和漢薬	加 藤 敦 紺野 勝弘	25 名	5/10 (土)、5/11 (日)
		免疫学入門	岸 裕 幸 小澤 龍彦 小林 栄治 山口 智史 早川 芳弘 河原 永悟 村井 佑至	25 名	5/31 (土)、6/1 (日)
		基礎から学ぶ社会保障	松原 義弘	25 名	6/21 (土)、6/22 (日)
	心理と教育	心理学実験2 【BYOD】※	井戸 啓介	16 名	5/24 (土)、5/25 (日)
		心理学実験1 【BYOD】※	松 尾 藍	16 名	6/7 (土)、6/8 (日)
		心理学実験3 【BYOD】※	坪見 博之	16 名	6/28 (土)、6/29 (日)
		脳とこころとその病気	高雄 啓三 久米 利明	25 名	7/5 (土)、7/6 (日)
	社会と産業	ウクライナ侵攻後のロシア経済	堀江 典生	25 名	5/17 (土)、5/18 (日)
	人間と文化	中世の西欧の日常	徳 橋 曜	20 名	4/26 (土)、4/27 (日)
		日英の「捉え方」と認知モード	向井 理恵	20 名	7/12 (土)、7/13 (日)
	自然と環境	【新規】雪から読み解く地球環境	遠山 和大	30 名	4/19 (土)、4/20 (日)
		【新規】水環境を理解する	加賀谷重浩	16 名	6/7 (土)、6/8 (日)
		実験で学ぶカーボンニュートラル	脇 坂 暢	16 名	6/14 (土)、6/15 (日)

※【BYOD】自分用パソコン持ち込み方式：受講者ご自身のパソコン等を持参して受講いただきます。

授業の一部を紹介します

「富山のくすり」と和漢薬

開講日：5/10 (土)、5/11 (日)

「和漢薬」とは、中国を起源とする「漢薬」に日本に古来より伝わる「和薬」を組み合わせた伝統薬で、複数の生薬や成分が合わさって薬効を示します。生薬には、身近な植物や食品も多く含まれ、また、有毒植物さえも毒性を弱め治療に用いる工夫もあります。和漢治療の診断・調剤の方法を解説し、「富山のくすり」として全国に知られている富山県の医薬品産業、それらがどのように生活や文化・歴史と関わってきたかを学んでいきます。

中世の西欧の日常

開講日：4/26 (土)、4/27 (日)

過去の人々の日常生活のあり方を広く検証することは、その社会や文化を考える上で重要な要素となります。その点で過去の「日常」の再構築は、歴史学の重要な営みの一つです。中世イタリアの都市を主たる対象として、当時の社会の「日常」を社会・経済・家族・宗教・食から多面的に検証しつつ、「中世ヨーロッパ」のイメージを問い直してみます。

通信指導の提出をお忘れなく！

◆ 通信指導

- 放送授業及び一部オンライン授業では、各学期の途中に1回、科目毎に前半の一定の範囲で問題が出題され、解答を提出し合格すると単位認定試験の受験資格が得られます。期限後の提出や未提出は、評価対象になりません。通信指導は、Web 通信指導による提出（郵送提出科目を除く）ですので、問題冊子の送付はありません。自宅等からインターネットを通じて Web 通信指導システムにアクセスし問題閲覧・解答提出を行います。提出期間中いつでも提出可能ですが、評価対象となる解答は1回目の提出のみです。

◆ Web 通信指導

一部の科目を除き、インターネット上で通信指導問題の提出・解説の閲覧ができる「Web 通信指導」が利用可能です。

「Web 通信指導」で通信指導問題の提出(送信)を行った場合には、**郵送による提出は不要です**（提出されても無効となります）。科目一覧の各科目の欄内に「提出済(送信済)」と表示されます。

対象科目、受講方法などについて詳細は、システム WAKABA「キャンパスライフ→学内連絡→通信指導の提出について」をご覧ください。

忘れないでね！



2025年度 第1学期

通信指導提出期間

- Web 通信指導による提出の場合

5月8日(木) 10:00～**5月28日(水) 17:00**

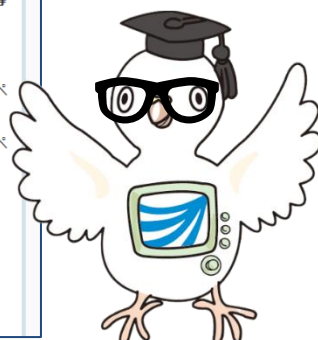
- 郵送による提出の場合

5月14日(水)～**5月28日(水)** 大学本部必着

- 原則 Web 通信指導による提出（郵送提出科目を除く）となりますので、問題冊子の送付はありませんが、授業サポート>授業共有ファイルから問題を閲覧・ダウンロードできます！**



通信指導提出期間前に問題を確認することができます♪



卒業研究ガイダンス開催のお知らせ

日 時：6月22日（日）10：00～11：30

場 所：富山学習センター講義室2

対 象：①来年度に卒業研究を履修したい全科履修生

②学位授与機構へ学修成果（レポート）を提出するため、卒業研究の履修を検討している学生

③再来年度以降に卒業研究の履修を検討している学生

内 容：放送授業や面接授業との違い、申請から履修までの流れ、卒業研究報告書の提出についてなど

申込方法：富山学習センターまで電話またはメールにてお申し込みください。

◆ 卒業研究とは

- ・ 教養学部各コース（専攻）に所属している全科履修生が、教員から直接指導を受け履修する選択科目です。必修科目ではありません。選科履修生や科目履修生は履修できません。
- ・ 卒業研究は6単位修得できる科目です。そのうち、3単位を放送授業、3単位を面接授業の単位として認定します。
- ・ 履修期間は4月から1年間です。したがって、1学期で卒業要件を満たしても1学期末で卒業はできません。

大学院修士課程 入学希望者 ガイダンス開催のお知らせ

日 時：6月21日（土）13：30～15：00

場 所：富山学習センター講義室2

対 象：①大学院修士課程修了を目指す方

②修士全科生の選考について関心のある方

※これまで本学に在籍したことがない方も参加できます。

内 容：大学院修士課程の概要、入学者選考方法についてなど

申込方法：富山学習センターまで電話またはメールにてお申し込みください。

参 考：大学院（修士全科生・博士全科生）2025年度4月入学生の募集について

出 願 期 間：8月15日～25日

第1次選考（筆記試験）：10月4日

第2次選考（面接試験）：11月中旬



事務室からのお知らせ

その1 学生証の発行・更新について

・学生証は入学時に富山学習センターにて発行し、受付でお渡しします。受取りの際には、入学許可書（又は運転免許証等の身分証明書）をご持参ください。全科履修生は2年毎に学生証の更新があります。在学中に学生証の有効期限が切れた場合は、新しい学生証が交付されますので、期限切れの学生証をご持参ください。

新しい学生証の受け渡しは、1学期は4月上旬、2学期は10月上旬から行います。出願時に写真が登録されなかった場合は、新たに写真票（『学生生活の栞』巻末）を本部に提出するか、もしくはシステム WAKABA で写真を登録してください。



写真の登録から学生証の発行までには時間がかかります。受け取りに来所される際は、事前に電話等で本学習センターに確認ください。学生証は図書室・視聴学習室の利用などの際に必要ですので、必ず発行手続きを行ってください。

その2 駐車場整理券について

駐車場の定期的（目安は月1回以上の定期的な利用）な利用が見込まれる方は、「駐車整理券」の交付申請を本学習センター受付で行ってください。申請から交付まで10日程度かかります。なお、駐車整理券は年度限り有効ですので毎年度の申請が必要になります。

その3 臨時閉所日のご案内

令和7年度の富山学習センター臨時閉所日を以下のとおり予定していますのでご注意ください。

【1学期】8/12 ～ 8/17

【2学期】12/28、1/4、1/16（PM）、1/17、/18、2/24、/25

※本学習センター所在地域において「特別警報」または暴風・大雪・大雨洪水等による各「警報」が発令された場合には、臨時閉所等することがあります。臨時閉所等の状況についてはその都度、富山学習センターWebサイト（ホームページ）にてお知らせします。

（閉所の場合は留守番電話に切り替わっています。）

その4 事務職員の異動について

〈新任〉 令和7年4月1日付	〈退任〉 令和7年3月31日付
事務職員： 森田 誠	事務職員： 亀井 隆之



4月～7月のスケジュール

赤字…各種行事

青字…面接授業

◆ 4月

- 1日 第1学期 放送授業開始
- 4日 オンライン授業開始
- 11日 面接授業 空席発表・追加登録開始
- 19・20日 面接授業
- 26・27日 面接授業

◆ 5月

- 1日 ライブWeb 授業開始
- 8日 通信指導 受付開始（～5/28）
- 10・11日 面接授業
- 17・18日 面接授業
- 24・25日 面接授業
- 31日 面接授業

◆ 6月

- 1日 面接授業
- 7・8日 面接授業
- 10日 第2学期 出願受付開始（～9/11）
- 14・15日 面接授業
- 21日 大学院入学希望者ガイダンス
- 21・22日 面接授業
- 22日 卒業研究ガイダンス
- 28・29日 面接授業

◆ 7月

- 5・6日 面接授業
- 12・13日 面接授業
- 16日～24日 単位認定試験 期間
（※科目によって終了日が異なります）



4月

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

5月

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

6月

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

7月

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

放送大学 富山学習センターの開所時間

- ・火～日曜 9:00～17:30
（図書室・視聴学習室利用時間 9:00～17:00）
開所時間は変更となる場合もありますので、
Web サイト等で随時ご確認ください。



◀ Web サイトはこちら！

TEL：0766-56-9230

Email：toyama.sc@ouj.ac.jp

閉所日【月曜、祝日、臨時閉所日】